

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 26 日 (2020.11.26)

【公開番号】特開 2020-168872 (P2020-168872A)

【公開日】令和 2 年 10 月 15 日 (2020.10.15)

【年通号数】公開・登録公報 2020-042

【出願番号】特願 2020-122602 (P2020-122602)

【国際特許分類】

B 4 1 J 13/02 (2006.01)

B 6 5 H 5/38 (2006.01)

B 4 1 J 13/10 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 13/02

B 6 5 H 5/38

B 4 1 J 13/10

B 6 5 H 5/06 D

B 6 5 H 5/06 F

B 6 5 H 5/06 P

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 16 日 (2020.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

搬送路及びフレームを有する筐体と、
上記搬送路を搬送されるシートに画像を記録する記録部と、
上記搬送路に配置された第 1 ローラと、
上記第 1 ローラと対向して配置された第 2 ローラと、
上記搬送路の一部を構成する第 1 位置、及び上記搬送路を開放する第 2 位置に回動可能な回動部材と、
上記回動部材に連結され、上記第 2 ローラを支持するローラホルダと、
上記ローラホルダに設けられ、上記フレームと係合可能な係合部と、
上記ローラホルダに設けられ、上記搬送路を搬送されるシートに当接する第 1 先端部を有する第 1 当接部材と、を備え、
上記回動部材が上記第 1 位置にあるとき、上記ローラホルダは上記係合部が上記フレームと係合することによって第 3 位置に位置決めされ、
上記ローラホルダが上記第 3 位置にあるとき、上記第 2 ローラが上記第 1 ローラに当接し、且つ上記第 1 先端部が上記搬送路を搬送されるシートに当接する画像記録装置。

【請求項 2】

上記回動部材が上記第 2 位置にあるとき、上記ローラホルダは第 4 位置にあり、
上記ローラホルダが上記第 4 位置にあるとき、上記第 2 ローラが上記第 1 ローラに当接せず、且つ上記第 1 先端部が上記搬送路を搬送されるシートに当接しない請求項 1 に記載の画像記録装置。

【請求項 3】

上記搬送路を搬送されるシートを支持する第 1 リブをさらに備え、
上記第 1 当接部材の上記第 1 先端部は上記第 1 リブの上端よりも下方に位置する、請求項
1 または請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

上記搬送路を搬送されるシートを支持する第 2 リブをさらに備え、
上記第 1 当接部材は、上記第 1 リブと上記第 2 リブの間に配置される、請求項 1 から請求
項 3 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 5】

上記ローラホルダに設けられ、上記搬送路を搬送されるシートに当接する第 2 先端部を有
する第 2 当接部材をさらに備え、
上記第 1 先端部と上記第 2 先端部と上記第 1 リブと上記第 2 リブとが、上記搬送路を搬送
されるシートに当接し、上記搬送路を搬送されるシートを上記第 1 ローラの軸方向に沿っ
た波形状にする、請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

上記ローラホルダに設けられ、上記ローラホルダを上記第 1 ローラ側へ付勢する複数の
付勢部材をさらに備える、請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 7】

上記付勢部材はコイルバネである、請求項 6 に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

上記回動部材が上記第 1 位置にあるときの上記コイルバネの縮み量は、上記回動部材が上
記第 2 位置にあるときの上記コイルバネの縮み量よりも大きい、請求項 7 に記載の画像形
成装置。

以 上